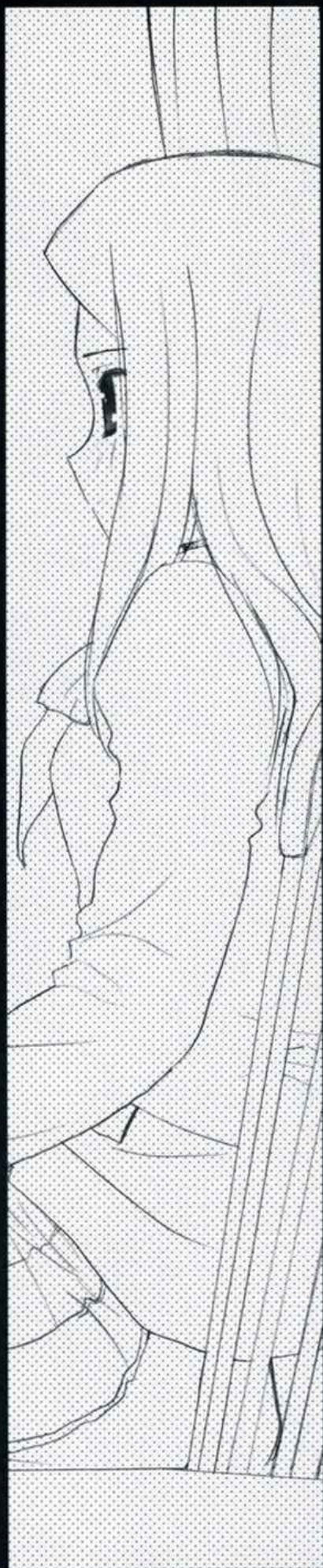


WITCHBLOOD

FOR ADULTS





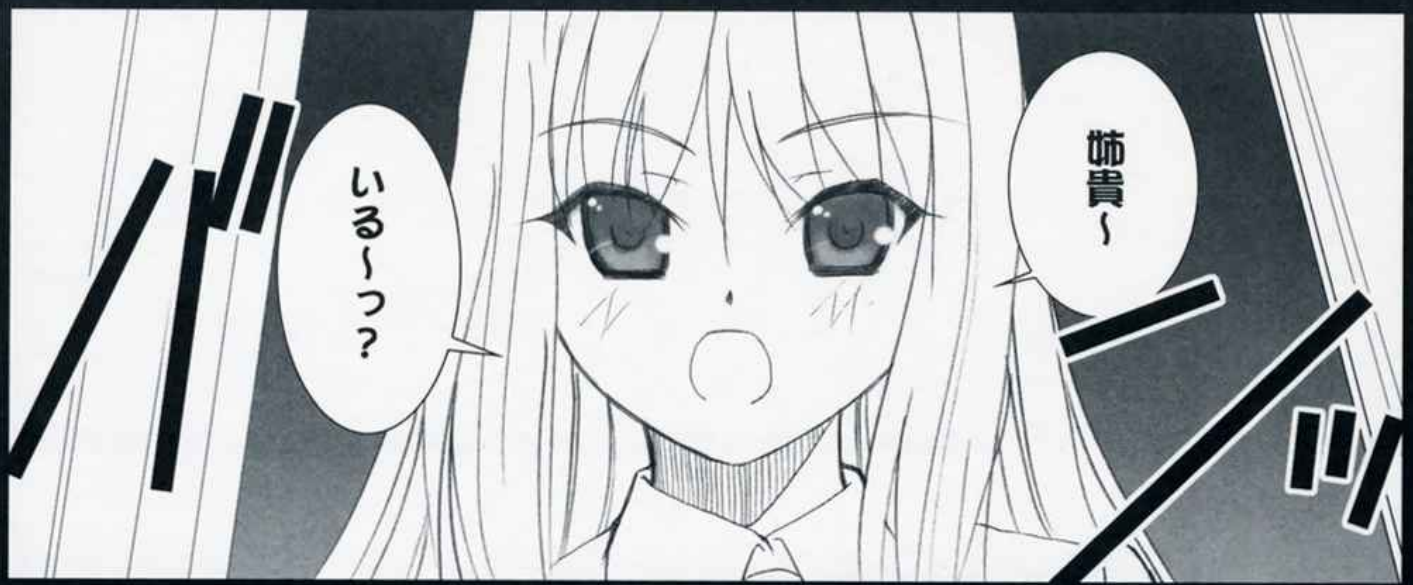
切り裂かれた

異界の裂け目

それは...どこの世界とも知れぬ

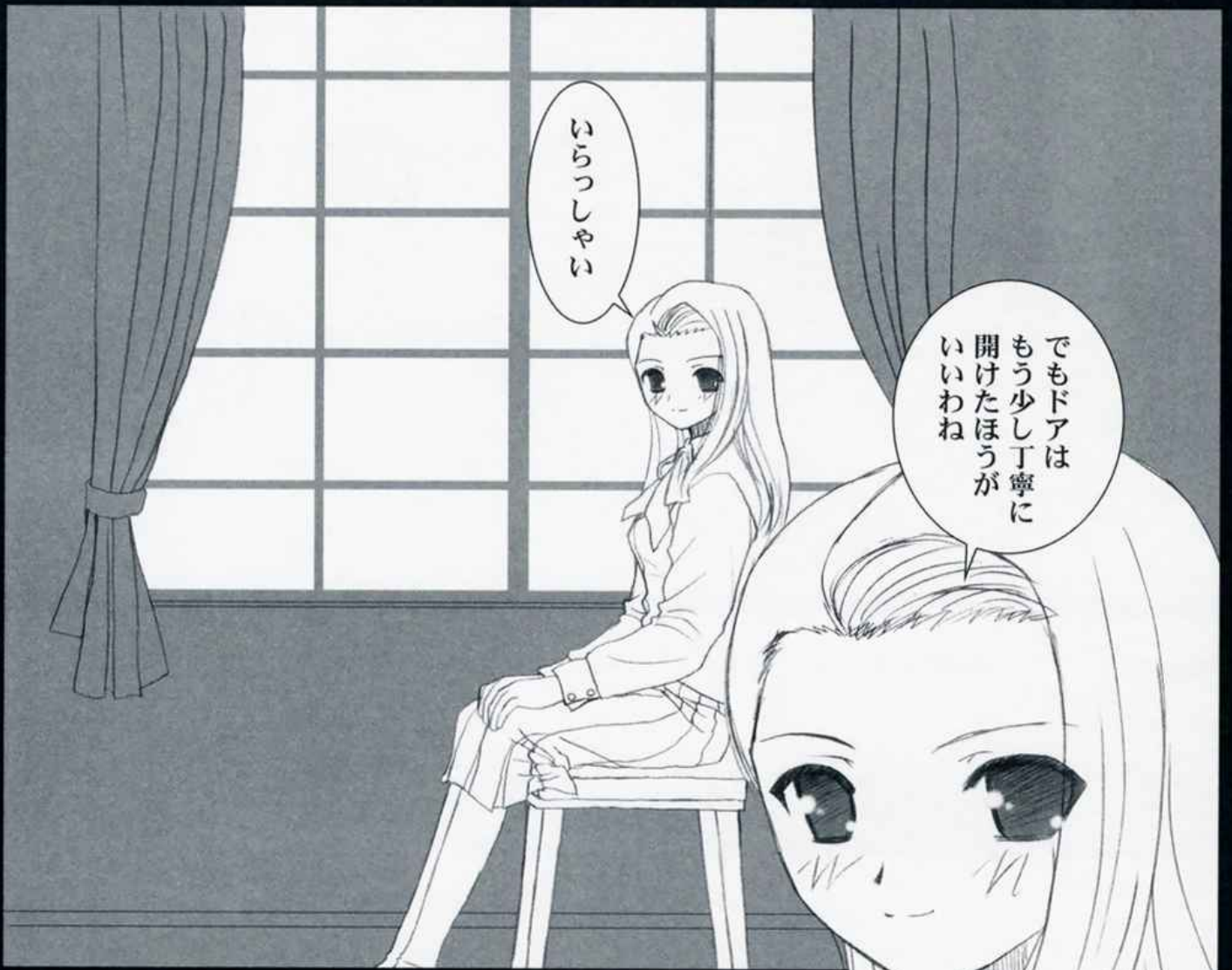
切り取られた

—— 風景 ——



いゝっつ?

姉貴



いゝっつ

でもドアは
もう少し丁寧
に開けたほうが
いいわね



最近体力が
ムダに余ってる
感じであゝ

ごめ〜ん

妖怪じじいは？

工房よ

もう二週間に
なるかしら…

…ふん

で、

一人ぼっちの
お姫様は
またお外を
眺めてたわけね

ええ

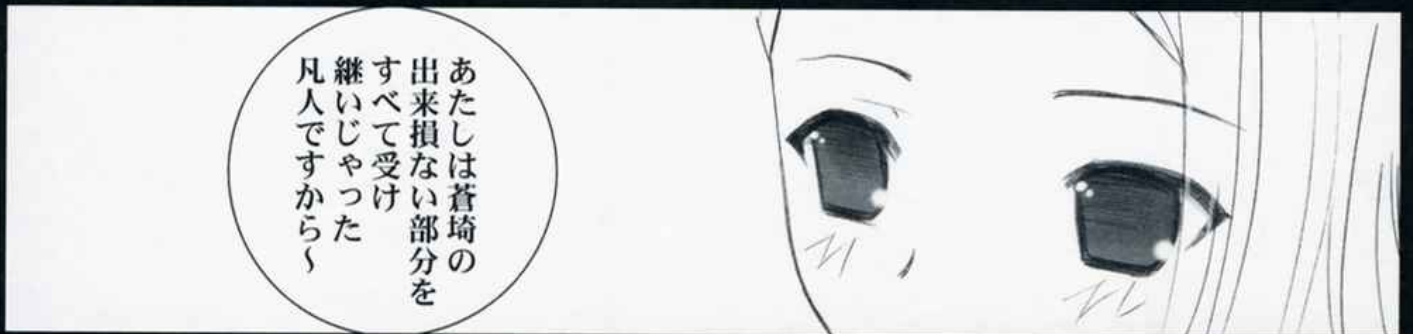
よく
飽きないよね

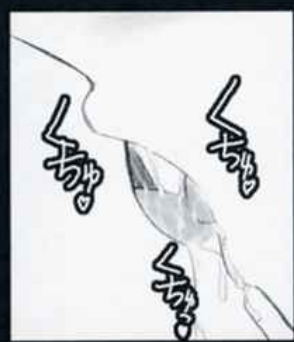
こんな
代わり映え
しないの
見えてさく

そう？…これも
いいものよ

この緩やかな
時の流れに身を
任せていると

だんだん心が
澄んできて…







あなたも
素敵よ

アキラ



姉貴だけ…

そう言うって
くれるのは



姉貴は
相変わらず
肌が白くて
うらやましいな

そっ…





こうしてるときの



うん…

どうしたの



それに…

姉貴の
表情が好き

こうやって
肌を合わせると
姉貴の匂いを
感じられる…



垣間見ることが
できるんですもの

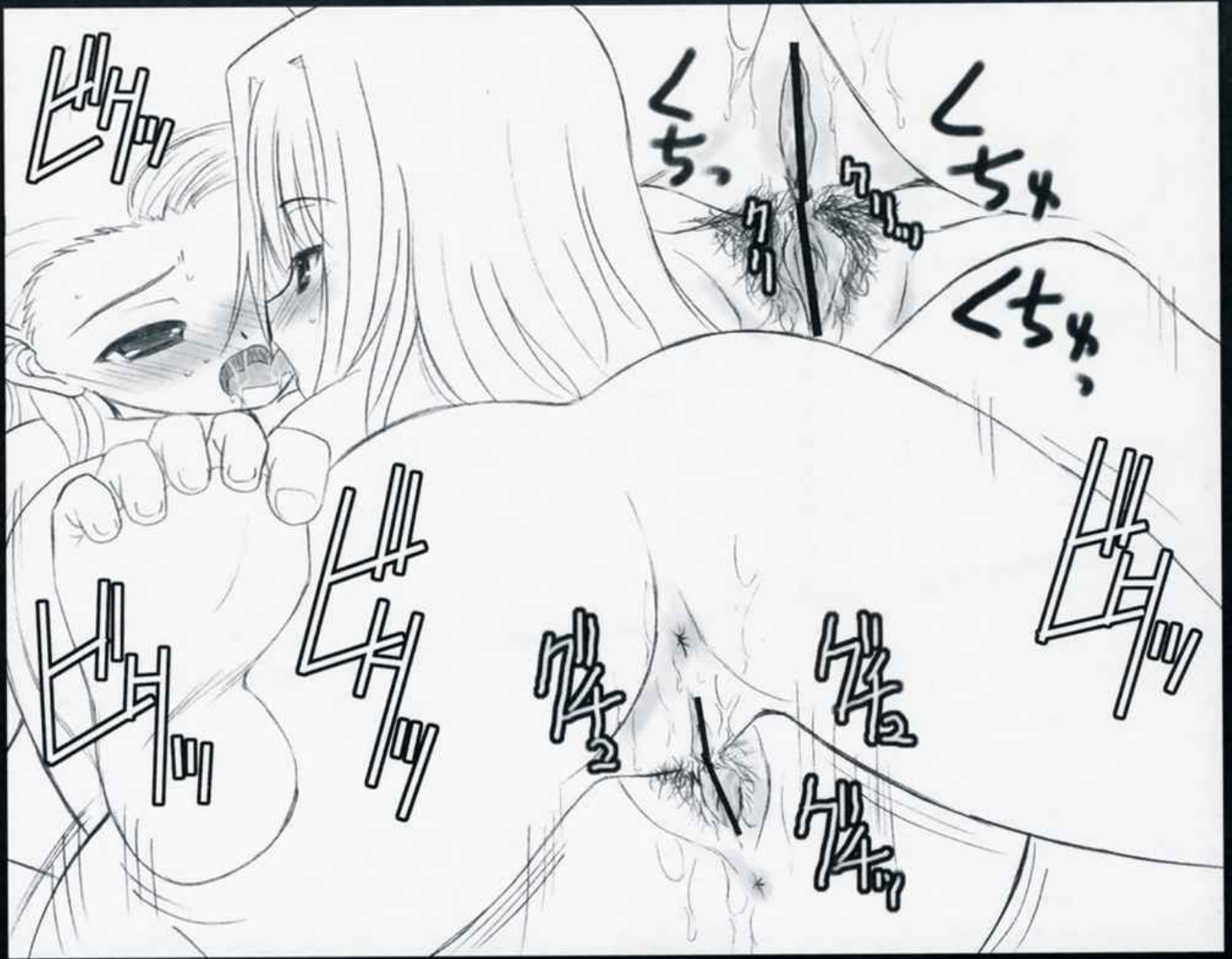


こうしてる
ひと時だけ


もう
戻ることのない
向こう側の…
貴方のいる世界を



私もよ…



これは蒼崎青子が、姉橙子と対等の蒼崎の後継候補として、日常と非日常の間で生きること強られる、ほんの少し前のお話。その後今に至るまで続くことになる、橙子との殺し愛という名の姉妹関係に落ち着くのは、後継が決定するもう少し先の出来事…。



今度だてついたら
去勢してあげるわ
この駄犬!!

なんですか
犬のくせに
その反抗的な目は

今回の話、いがんせんキャラマテの文と、過去の読本とガ目略本編とが
限られた情報だけでてっち上げちゃってるので、いがんせん限界は低く…。
一番厄介だったのは二人の関係の推移として、
青子十六の誕生日が決別の日か、それとも誕生日は候補に決まっただけで
最終決定したときなのか、情報がこんがらがって判断が難しかったですけど
十六の誕生日が穂子との決別のときっていう前提で今回のお話は描かれています。
この後二人の別れまで描きたかったんですけど今回は時間切れorz
まだいつかどこかで日の目が見せられたいんですけどね…。

ゼロの使い魔読んで真っ先に考えちゃったのはこのイメージ(笑)
あれだけ犬犬言ってるけど、どこかの番犬も思い出しちゃうわけで…。
でも、描いてみたら全然違和感ありませんでした(∇)！
特に台詞はマンマというが…。
鎖の代わりに聖骸布で拘束ってのと、
ニーソのかわりに包帯がポイントですわん。

本のタイトルは、あの泣ける銀魂アニメから～。

以ない 00

DIEPPE FACTORY



こんにちは、アルビーヌです。
本来の新刊は堕ちちゃいましたごめんなさいm(____;)m

代わりに急遽出したのは久しぶりのTM本、先日出たキャラマテに
インスパイア(笑)されて蒼崎姉妹ネタなんてものをやってみました。
「今の関係」になる前…まだ普通に中のいい姉妹だったときを
なんとなく描いてみたかったわけなんですけど、本音は女子高生
アオオオを描きたかっただけという(爆)
まあ、これ入稿直前に風邪でぶっ倒れてしまってグダグダかつ
ろくな中身にはなっていないんですけど、どうか読んでやってください。

で、今回出せなくて次回出すのはごらんの通り、っていうか
夏の本でもちよろっと触れた「ゼロの使い魔」本でした(；▽；)
既にアニメのほうは終わっちゃってるんですけど、
一応小説本ということでやりたいと思います。9巻も出だしね。
本当はこの本でもティファニアとかも描きたかったけど、
ページと時間の都合ということで今回は断念。
その新刊の中身はルイズとサイトのえっちなお話です。
冬コミ前のいつか…今月から来月あたりの書店 カイイベントで
出てるんじゃないかと思うので、見かけたら読んでやってください。

それでは、またゼロの使い魔本でお会いしましょう。

2006.10 ALPINE

次回配本は
ゼロの使い魔本です